



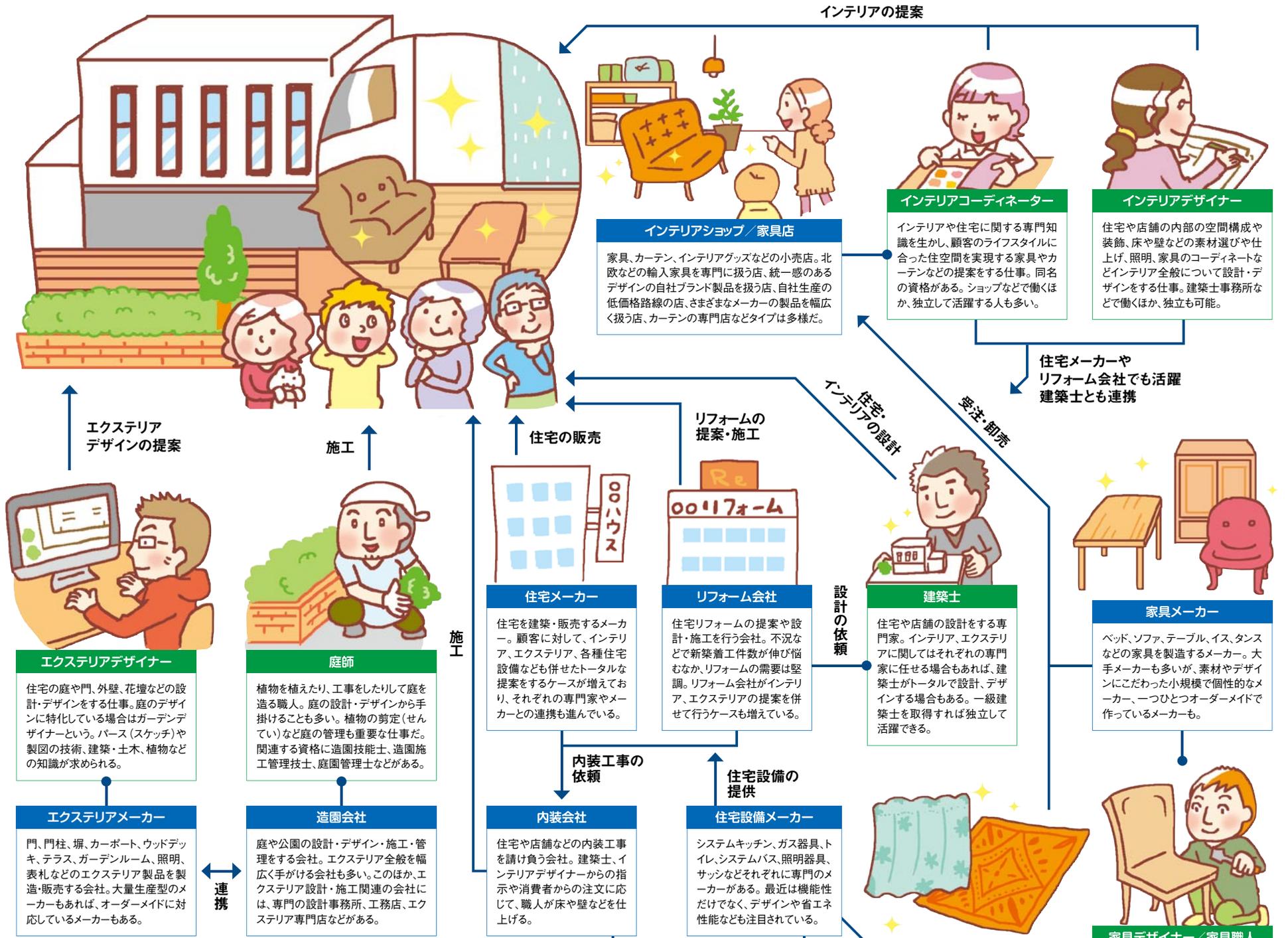
家で過ごす時間を演出する インテリア&エクステリア

家具やカーテン、生活雑貨などのインテリア、外壁や門、花壇、庭などのエクステリア。家の内側と外側で、毎日の生活に彩りを添えるリビング業界の仕事に注目。設計やデザインなどのクリエイティブワークから、製品の組み合わせを提案するコーディネートサービス、さらに販売や施工まで、さまざまなタイプのプロフェッショナルが活躍する業界の魅力を紹介する。

仕事がわかる業界図鑑 vol.33

“リビング業界”

取材・文 / 伊藤敬太郎 撮影 / 田中史彦 イラスト / 藤井昌子



最新の業界事情

コーディネートサービスのニーズが上昇

家具・インテリア業界は、長引く不況の影響で、業界全体としては厳しい状況が続いている。そんな中でも業績を伸ばしているのは、海外生産で低価格路線を徹底している企業（ニトリなど）、高いデザイン性と安さを両立している企業（イケアなど）だ。一方、「北欧風」「和モダン」「シンプルモダン」など、テイストを統一した家具・インテリアのトータルコーディネートに対する消費者の関心は上昇。そのため、専門家によるコーディネートサービスに力を入れるインテリアショップも増加している。

エクステリア・ガーデン業界は、かつては男性中心の業界だったが、消費者のデザイン性重視の傾向に伴い、最近では女性の活躍が目立ってきている。

内装職人

床の工を行う床張り職人、壁紙を貼るクロス職人、壁などにペンキを塗る塗装職人など。内装会社に就職し、親方や先輩職人のもとで仕事を覚える。仕事の種類別に国家資格がある。

キッチンスペシャリスト

キッチンに関して、快適さや機能性を意識して、レイアウトを考えたり、最適な設備を提案したりする仕事。住宅業界、住宅設備業界、インテリア業界などで幅広く活躍。同名の資格あり。

照明プランナー

住宅や商業施設などの照明器具の選定や配置を考える光のスペシャリスト。間接照明などで住空間を演出することが一般的になり、住宅分野での活躍も増えている。関連の資格や専門の養成スクールもある。

家具デザイナー/家具職人

家具を設計・デザインしたり、自分の手で作ったりするクリエイター。使いやすさや丈夫さを意識して、素材や構造を考える。個性的なデザインが評価されているデザイナー・職人も多い。独立して活躍する人も。

なるには？

大学短大専門学校の建築インテリアデザイン、空間デザインなどに関連する学部・学科・専攻で学ぶのがベター。インテリアコーディネーター資格取得のためのコースもある。ただし、資格は社会人になってから資格スクールなどに通って取得することも可能。内田さんも大学でインテリアデザインを学んだが、資格取得は卒業後だった。

「あなたに頼んで良かった」と喜んでもらえることが何よりうれしい

内田さんが勤務するスタイリクスは、顧客のニーズに応じて大量のカatalogから最適なインテリア製品を提案するインテリアコーディネートショップ。家の新築や引っ越し、リフォームなどで家具を一式そろえたいという人たちが訪れるが、「自分ではどうしていいかわからない」という顧客も多いという。

「だからこそお客さまの好みはむしろ、ライフスタイルや間取り、予算などをじっくりおろかがいして、共通のゴールを探ることが大切なんです」

休日の過ごし方なども含めて丁寧な聞いていくと、顧客が部屋に何を求めているか、何を重視しているかが見えてくる。ニーズを把握したうえで、サイズや価格はもちろん、テイスト、機能性、素材などをついひとつ検討し、それぞれの顧客に合った家具、カーテン、照明、小物などを厳選して提案する。

「お客さまに『それでいいや』ではなく『それじゃないと』と言っていただけるよう、細かな部分までしっかりと詰めて提案することを心がけています」

顧客から大満足コメントとともに製品を配置した部屋の画像が送られてくることもある。そんなメールを見るのは内田さんにとってもうれしい瞬間だ。

「あなたに頼んで良かったと言っていただけのこと」がこの仕事をしていて何よりの喜びですね」

④内田さんの「1日」

9:00~9:30に出勤し、メールチェックや見積書作成などをして10:00に開店。スタイリクスは完全予約制で接客時間は1組1時間半。土日は予約が集中するのでほぼ終日接客にあたることも多い。19:00の閉店後は顧客の情報整理や製品の在庫確認などを行う。

インテリアコーディネーター

スタイリクス新宿店
インテリアコーディネーター
内田芳美さん (27歳)



職種 PICK UP!

埼玉県立所沢高校、東京造形大学造形学部デザイン学科室内建築専攻領域卒業。インテリアショップ営業職などを経て、2012年3月より現職。